

製品名: CYFIP1 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe01877**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル抗体
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000
分子量	Calculated MW: 145 kDa; Observed MW: 145 kDa

抗原情報

遺伝子名	CYFIP1
別名	SHYC; SRA1; SRA-1; P140SRA-1
遺伝子 ID	23191
SwissProt ID	Q7L576
免疫原	ヒト CYFIP1 の合成ペプチド

背景

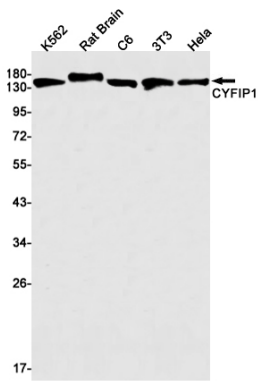
mRNA キャップに結合して翻訳抑制を媒介する CYFIP1-EIF4E-FMR1 複合体の構成要素。CYFIP1-EIF4E-FMR1 複合体では、このサブ

ユニットは EIF4E と FMR1 間のアダプターとして働く。おそらく EIF4E および mRNA との会合を媒介することにより、脳内で FMR1 の翻訳抑制活性を促進する。膜ラッフルおよびラメリポディアの形成を調節する。軸索伸展に役割を果たす。F-アクチンに結合するが、RNA には結合しない。Arp2/3 複合体との相互作用を介してアクチンフィラメントの再編成を調節する WAVE 複合体の一部である。アクチンリモデリング活性は RAC1 によって調節される。上皮形態形成の調節因子。WAVE1 複合体の構成要素として、BDNF-NTRK2 のエンドサイトーシス輸送および初期エンドソームからのシグナル伝達に必要である。癌の浸潤抑制剤として作用する可能性があります。

研究分野

-

画像データ



CYFIP1 抗体を使用した K562、ラット脳、C6、3T3、Hela 溶解物中の CYFIP1 のウエスタンプロット分析。